

不妊治療ならびに妊孕性温存治療に関するお知らせ

不妊診療・体外受精を担当している佐藤 幸保 医師が 2023 年 3 月 31 日をもって高松赤十字病院を退職することとなりました。それにもない生殖医療専門医が不在となるため「がん患者への妊孕性温存治療」に対する公的助成金が交付されなくなります。ご迷惑をおかけしますが、2023 年 4 月 1 日以降は、妊孕性温存治療を希望される患者さんの受け入れはできません。

また、体外受精を希望される患者さんが当科の不妊診療体制・体外受精設備の許容範囲を超えて増加し、治療の安全性を担保できなくなる事態が生じつつあります。そのため、2023 年 2 月 1 日から新規不妊患者さんの受け入れを一時的に停止することにいたしました。できるだけ早急に体制を整え、受け入れを再開できるよう尽力いたしますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

高松赤十字病院 第一産婦人科部長

後藤 真樹